



トンボは何を食べるの

空を飛んでいる小さい虫を食べる

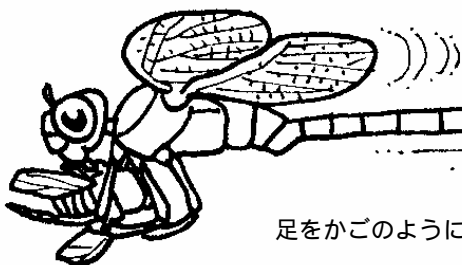
トンボは、空を飛びながら獲物をつかまえます。生きていて、空を飛んでいるものだけをとらえて食べます。木の枝の上を動いている虫や、葉の上にとまった虫がいても、トンボは知らん顔をしています。

トンボの獲物のとらえ方

トンボのオスは、自分のなわ張りをもっていて、その中の決まったコースを、パトロール飛行します。とちゅうで出会う虫などを、がっちりした口のごでつかまえ、とげのたくさんついた足で、にげないようにかかえこみます。トンボは、前足、中足、後ろ足の順に足の長さが長くなっていますので、この6本のとげのある足で、かごのように獲物をかかえこめます。そして、足の先のかぎづめに引っかけて、獲物を口へ運びます。

チョウやセミもとる

ふつうは、ハエやカなどをとることが多いのですが、ガやチョウ、セミなど、大きい昆虫もとらえて食べます。ガなどの大きい獲物を食べる時は、安心して食べられる所まで運び、草のくきなどにとまって、とらえた獲物を食べます。ときには、大型のトンボが、小さいトンボを食べたりもします。（監修・中山 周平）



足をかごのようにして獲物を運ぶトンボ

